

修学旅行特集

Doho High School Community Press

同朋和敬



旅

に出る理由を「変化をするため」と言う人がいる。その人は「変化とは生きることそのもの」なのかもしれない。現地に行って触れたこと、見たこと、感じたこと、食べたもの、直接聞いた話、新しい人との出会い、新しい価値観との出会い、そして新しい自分との出会い。コロナ禍で行き先を変える学校が多くあったなか、生徒の皆さんが修学旅行を通して何を得られるかを常に考え、同朋高校は沖縄での修学旅行を続けてきた。今年の2年生はどんなことを感じただろう。

3年生がこれから歩み始めるそれぞれの「旅路」が豊かなものでありますように！

同朋高等学校長 滝 敏行

同朋和敬

2

学校通信

Doho High School Community Press
Vol.236 13 FEB 2025

同朋高等学校

学校通信編集委員会

宇佐美・落合

名古屋市村区稲葉地町7の1

TEL 052-411-1159

卒業おめでとう！卒業生へ贈る言葉

卒業おめでとうございます。
自分自分!ではなくて
他人を幸せにする
「GIVINGな人生」!

301担任 小川 幸子

ご卒業おめでとうございます。18年間お疲れ様でした。
高校生活振り返ると、楽しかった思い出だけではなく、勉強、部活、恋愛や人間関係など、いろいろと苦しい経験もしてきたと思います。
明確な意思が定まっていなくても、ただ目の前にある道を彷徨うことは、案外苦勞する経験や挫折が多く、思い出したくない過去の中にもあるかもしれません。
しかし、その辛かった気持ちを忘れず持ち続けることが、今後生きていく中で重要だと思っています。しんどい経験を何度も乗り越え、失敗を繰り返しても希望を持ち続けることができるし、「何が起きても自分は乗り越えられる」と自分を信じて前向きに進むことができるからです。
また、人生は自分で自由に選択することで、充実した時間を過ごせると信じています。「これでいいや」ではなく、「これでいいこう」と強く信念を持ち、ここで培った経験を、今後の人生に活かして、進んでいってください。幸せになつてね。

302担任 八尾 雅也

かつて天才だった俺たちへ
Song by Creepy Nuts

卒業おめでとうござい
ます。

303担任 鈴木 広太

卒業おめでとうございます。
これから先、将来の夢に向かって努力する過程では、すぐに結果が出るとは限りません。
そうだと分かっていても、なかなか結果が出ないことに焦ったり、投げ出しそうな気持ちになったりするでしょう。
そんな時こそ、物事が思うように進まなくても、焦らずにじっくり取り組むことが成功の秘訣。
焦らない、でも、あきらめない。
応援しています。3年間ありがとう。
304担任 岸川 桂子

卒業おめでとうござ
います。
自分を尊重し、他者
を尊重してください。
穏やかで優しい思
いやりの心をもって。
皆様の人生が幸せ
であるよう願ってい
ます。
3年間ありがとう
ございました。

305担任 鶴岡 昌毅

『Carpe diem』
佐々木の一番好きな古代ローマ詩人の言葉です。「いまを生きる」と訳されますが、直訳すると「その日の花を摘む」という意味になります。つまり、その日の一番の花を摘むことを、一日のベストを尽くすと例えているわけですね。古代ローマ、おしゃれですね。
さて、これからは幸せと思える日、雫を濡らして眠る日、いろいろあるかと思えます。それでも、我々にできることは、「ああ、なんて素敵な日だ」と呟きながら毎晩寝られるように、懸命に、丁寧に「その日の花を摘む」ことのみです。
花を摘んでいけば、それはやがて花束になります。その日に一番「素敵だな」と思って摘んだ花、「これでいいや」と思って摘んだ花、どちらで花束を作りたいですか?みんなはどんな花束を作るのか、楽しみです。それではまたいつか。

306担任 佐々木 寛斗

映画とは何かー
nothing(何ものでもない)
映画は何を望むのかー
everything(すべてを望むのだ)
映画には何ができるかー
something(わずかな何かだ)
ジャン＝リュック・ゴダールという映画監督のことばです。
「映画」を「わたし」に置き換えて。
謙虚に?勇ましく?大胆に?
ともあれ、しなやかであること。
これからも皆さんの「something」を楽しみにしています。

307担任 久野 嵩大

言葉は意図せずして呪いをかけるものです。
日誌には「疲れた」「帰りたい」という言葉がよく並びます。こういった言葉に「ああ、この子たちは呪いにかけているのか」と考えさせられます。一日は強いられる無益な苦勞を堪えるもの。もしくはその苦勞から逃げるもの。青春をかけて、そんな風に不満を自分に刷り込んできたかと思うと胸が痛みます。
「タイタニック」では、貴族に「そんな貧しい生活で満足しているのか」と聞かれた主人公はこう答えます。
「ええ、満足します。健康な身体と絵を描く紙があれば充分です。毎日新しいことが起こり出会うことがある。それが楽しいんです。どんなカードが配られるか分からなくても、それを生きているのが人生なんだ。」
言葉の呪いは時に前進もさせてくれます。
前向きな言葉を胸に抱いて。今日に乾杯!!

308担任 小倉 諒也

卒業おめでとうございます
学校や家庭では教えられないことがたくさんあります。だからこそ、最後の言葉として二つだけ贈ります。
ときには逃げましょう。ときには嘘をつきましょう。
生きることを大前提として、あなたとあなたの守りたい人を守ってください。真っ向勝負だけが正しいわけではありません。
18歳が「成人」となった21世紀を生きていくあなたたちへ。
ようこそ大人の素敵な世界へ。
309担任 寺町 健

夢は叶う(Dreams come true)という言葉がありますが、残念ながらそう簡単ではありません。
小さい頃や高校生の時に志した職業も、現実には5人に1人程度しか叶わないそうです。
本命の志望校や就職先に合格した人もそうじゃない人も、同朋高校でうまくいった人もそうじゃない人も、そもそも夢が決まっている人もそうじゃない人も、まだまだ道半ば。
この日を迎えることができたすべての人に改めて感謝しましょう。
恩返し気持ちは「結果」、今後の努力が実を結ぶ姿は「結果」です。
夢を「結果」で示すことができる皆さんに数年後にまた会えることを心から願っています。

310担任 隅田 詠吉

努力して結果が出ると、自信になる
努力せず結果が出ると、悔しになる
努力せず結果が出ないと、後悔が残る
努力して結果が出なくても、経験が残る
常に努力し続ける人生を

卒業おめでとう

311担任 伊吹 嗣平

いのちの理由 詩 さだまさし
私が生まれてきた訳は 父と母に出会うため
私が生まれてきた訳は 友達みんなに出会うため
しあわせになるために 誰もが生まれてきたんだよ
悲しみの花の後からは 喜びの実が実るように
悲しみの海の向こうから 喜びが満ちてくるように
私が生まれてきた訳は 愛しいあなたに出会うため
私が生まれてきた訳は 愛しいあなたを護るため

卒業おめでとう

312担任 平野 裕騎

3年生の皆さんへ
「ただ自分だけが自分の神であれ」
ある漫画の言葉です。この3年間、皆さんは自分の道を貫けましたか?自分の想いを伝えることはできましたか?
人に流され、折れてしまうことはとても簡単です。簡単です。
しかし折れた先にいる「自分」は本当に「自分」でしょうか?
皆さん一人ひとり、「自分」として生きる人生は一度きりです。
そして、誰もあなたの代わりはできません。あなたも誰かの代わりにはなりません。
人生に「完全」「完璧」はありません。だからこそ、「自分」として、一緒に歩んで行きましょう。それでは。

313担任 中村 亮太

素敵な思い出をありがとう
一緒に笑ったことも 一緒に歌ったことも 一緒にがんばったことも
一緒に恋バナしたことも 一緒にきゅんきゅんしたことも 一緒に悩んだことも
一緒に泣いたことも
一人ひとりにドラマがあり わたしの中に映像とてたくさん残っています
3年間積み重ねてきたことに自信を持ってください
あなたは あなたのままだいい
自分のしたいことを自分が知っていてください
自分らしくいられる場所を選び 自分らしく生きてください
わたしが大切にしたいと思う あい(愛)いのち(命)うん(運)えん(縁)おん(恩)
卒業おめでとう!!

314担任 遠山 千尋



Schedule [行事予定]

2月	22日 土	卒業式	3月	11日 火	2年生自主活動日
				12日 水	1年生自主活動日
	27日 木	学年末考査(～3月5日) 2年生音楽科修学旅行(～3月7日)		13日 木	進級判定発表、在校生健康診断
				19日 水	修了式

報恩講

11月28日は、真宗(浄土宗)をひらかれた親鸞聖人の御祥月命日です。
それに伴い29日に、1年生生徒が体育館に集い、報恩講の式典を行いました。

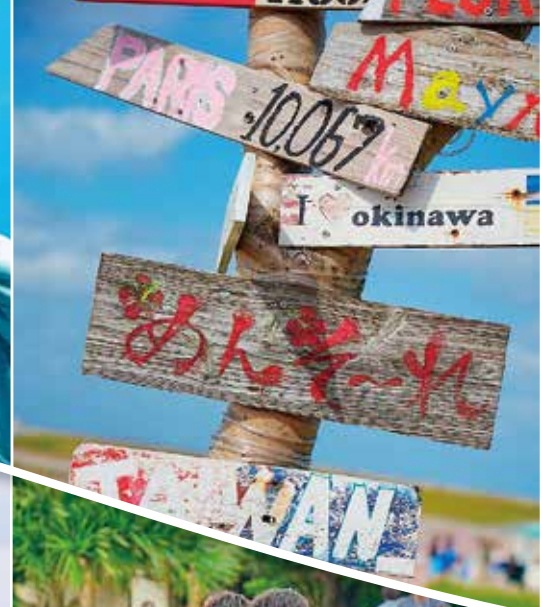


「報恩講」とは、親鸞聖人や皆さんの周りにいる仲間との出会いに感謝し(報恩)、皆で集まる(講)という意味で、浄土真宗の行事の中で最も大切で大規模な法要です。
各学科代表生徒が献花し、音楽科の生徒が「四弘誓願」「三帰依文」を勤めました。
そして真宗大谷派学校連絡会中高部会運営委員・養照寺僧侶の一柳智史様を講師に招き、法話をいただきました。

「いのちを大切にする」とは「私が今ここにいるために存在するもの」を意識し、それに感謝し、大切にすることであるといえます。「いただきます」を言葉にしたり、合掌したりするのは、そういう当たり前のことを忘れたままにしないための行動であると教えていただきました。改めて「いのち」や自分自身と向き合う機会となりました。

私たち同朋生は、「見真の日」の感話や「報恩講」の法話を通して、自分を見つめ直したり、他者との関わりを振り返ったりすることができます。このような時間を大事にもらえたら、と思っています。

宗教主任 久保田 彩



✿ 修学旅行を振り返って

2年生普通科・商業科の生徒が3団に分かれて、「沖縄修学旅行」に行ってきました。途中風が強かったり、雨がパラついたりということもありましたが、日ごろの学校生活を離れ、豊かな自然と文化を持つ沖縄でのさまざまな体験は、生徒にとって貴重なものとなりました。

初日は「子どもの沖縄戦」「女子学徒の沖縄戦」「浦添・宜野湾基地問題」「読谷の沖縄戦～戦後」の4つのコースに分かれて平和学習を行いました。平和ネットワークの方にガイドしていただきながら、事前に学んできたことと目の前にあることをリンクさせ、学びを深めました。ガイドさんの話を真剣に聞く姿や館内の資料に興味深くのぞき込む姿が印象的でした。2日目のコース別研修は、シュノーケリングやカヤック、ドルフィンガイドツアーなどそれぞれのコースで楽しむ生徒の姿を見ることができました。自然体験後は全てのコースが美ら海水族館に集まり、巨大な水槽を悠々と泳ぐジンベエザメや、美しい熱帯魚などを見学して楽しみました。

2日目の夕方から伊江島に渡りホームステイ、伊江島の子として一泊し、おじい、おばあの優しさに触れました。沖縄料理をふるまってもらったり、一緒にサーターアンダギーを作ったり、島内を巡ったりと、とても充実した時間となりました。沖縄には「イチャリバチョーデー（一度会えば兄弟）」という言葉がありますが、一泊したらまさに家族です。島を出るときは、「行ってらっしゃい」「行ってきます」と涙みだで送られていました。最終日は、むら咲むらで文化体験し、国際通りにて買い物などをする旅程で今の沖縄を感じることができました。

行事の成功には準備が欠かせません。各教科での事前学習や、学習委員・平和委員・クラ連の事前準備など、生徒も教員も十分な準備をして臨んだからこそ、充実した修学旅行にすることができました。

修学旅行を実施するうえで、多くの方にご助力いただき、生徒の心に残るものを作ることができました。お世話になった皆様、ありがとうございました。

2年生学年主任 荒川 諒太





201 高坂 莉夢（津島市立天王中学校出身）



201 平山 海斗（名古屋市立御田中学校出身）

Club&Award News

生徒の活躍（2024年10月8日～12月31日）

■柔道部

第47回尾張・名古屋・知多新人柔道体重別選手権大会
男子73kg級 第3位 岩瀬 大知(206) ⇒ 県大会出場
女子78kg超級 優勝 中谷 優心(105) ⇒ 県大会出場
女子63kg級 第3位 沖本 芽依(102) ⇒ 県大会出場
女子52kg級 第3位 山田 七夢(106) ⇒ 県大会出場
女子48kg級 第3位 須田 夏帆(201) ⇒ 県大会出場

令和6年度愛知県高等学校新人体育大会 名南支部予選会

女子団体 優勝 ⇒ 県大会出場
男子団体 第4位 ⇒ 県大会出場

■陸上競技部

第27回東海高等学校新人陸上競技選手権大会
最終順位 第17位 辻 真拓(207)

令和6年度愛知県私学祭体育大会

U16男子円盤投(1.500kg) 優勝 瀬古 基稀(111)
高校男子ハンマー投(6.000kg) 第4位 稲垣 瑛稀(208)

■サッカー部

令和6年度愛知県私学祭体育大会
第3位

AS.Laranja CUP

同朋Aチーム 優勝1回、2位2回
同朋Bチーム 優勝1回、2位1回、3位1回
同朋Cチーム 優勝3回
同朋Dチーム 優勝1回、2位2回

■女子バスケットボール部

ABA U18バスケットボールリーグ 2024-25シーズン
県リーグ参入戦トーナメント
ブロック優勝 ⇒ 県3部リーグへ昇格

■バドミントン部

第37回 豊田オープン大会 女子ダブルス2部
準優勝 廣瀬 結(303)
令和6年度知多・名南バドミントン選手権大会 女子I部
準優勝 同朋高校Iチーム

■ラグビー部

SAGA2024国スポ(第78回国民スポーツ大会)
第7位 愛知県代表選手として出場
市原 広大(306)、水野 竜之介(309)

第104回全国高等学校ラグビーフットボール大会愛知県大会
ベスト8

2024年TIDユースキャンプ

Bigman&Fastmanオンラインミーティング
選出 三輪 煌士(202)、中村 優河(205)

2024年第4回TIDユースキャンプ

Bigman&Fastmanキャンプ
選出 中村 優河(205)

令和6年度愛知県高等学校新人体育大会

名南知多支部予選会 優勝 ⇒ 県大会出場

■女子蹴球部

第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会愛知県大会
第3位

■書道部

岐阜女子大学第23回全国書道展
奨励賞 宮川 結菜(313)

■商業科

令和6年度税を考える高校生の作文
名古屋中村税務署長賞 松下 璃央(211)

■音楽科

第34回日本クラシック音楽コンクール
フルート部門
本選合格 市川 璃桜(314) ⇒ 全国大会出場

第34回日本クラシック音楽コンクール

声楽部門
本選合格 熊谷 優里(212) ⇒ 全国大会出場

寛仁親王牌 第39回童謡こどもの歌コンクール

こども部門 グランプリ大会
銀賞 藪田 美伶(314)

■国語科

第35回伊藤園お〜いお茶審判句大賞
佳作特別賞
中山 夢羽(303)、吉村 楓(卒業生)
佳作
中村 聡太(201)

第28回全国高校生創作コンテスト

現代詩の部
優秀賞 「プールーム」 佐藤 柚花(313)

■美術EP

開業20周年記念あおなみ線ヘッドマークデザイン募集
優秀賞 西子 結菜(201)
※ヘッドマークをつけた車両が走行します

同朋高校 オープン・フォーラム2024について

そもそもフォーラムとは、古代ローマにあった集会用の広場を指す言葉です。本校では、20年以上前から学校を開放し、保護者・生徒・市民・教員が一体となって教育を語り合い、学校を作ってきました。

今年度も4月から実行委員会会議を重ね、「みんなはどうしてる?〜本当は聞いてみたかったこと〜」をテーマとし、「悩み・困っていること・葛藤・我が家のルール・私の反省」というカードを引いてもらって自分のことを話してもらい、参加者みんなで深め合える場にしよということになりました。

当日は150名以上の参加がありました。「誰かに聞いてほしい」「自分だけかもしれない」といった不安を解消することができた、大人が何を伝えたいのかちょっとわかった、子どもはどんなことを大事にしているのかを知れた、など様々な感想をいただきました。

自分とは異なる価値観に触れる中で、自分の先入観を見直したり、相手を尊重したりできる場、それが同朋オープンフォーラムの良さだと感じています。来年度は生徒の参加者を増やすことを目標に、またテーマから実行委員のみなさんと考え、大切な機会にしていきたいと思います。

総務 久保田 彩



同朋生のいろ



文武両道

304 横江 竜征 (大治町立大治中学校出身)

私は部活動で男子サッカー部のキャプテンを頑張りました。これまでに、キャプテンを務めた経験がなく、初めは何もわからない状態で、周りを見ることから始めました。選手の行動や表情を見ることで、選手が思っていることを読み取り、自分の言動を考えて、一人ひとりに寄り添えるよう努めました。しかし、思った通りにはいかず、自分たちの代で勝てない時期は「自分なんてダメだ」と思うことばかりで辞めたくもありました。

ただ、自分はどんな時でも「自らチームを引っ張る存在であろう」と意識続けました。スペイン人の監督から「良いチームにはどんな時も手本となるキャプテンがいる」と言われたからです。その言葉を胸に、辛い時でも手本となれるよう心がけて最後まで頑張りました。

また、自分が頑張ってきたからこそ、部活の内外を越えた

他の人の頑張る姿も見えました。その中でも、柔道部は学校に一番に来て、午後すぐ柔道場へ移動して、一日中練習に励んでいました。練習だけでなく、校内のゴミ拾いや学校行事などで必ず手伝いをし、部活だけでなく学校の為に行動する彼らは同朋生の手本になる存在だと感じました。そして柔道部以外にも「同朋」のために頑張っている人が多かったと改めて感じています。

最後に一番大切にしてきたのは「感謝」です。一人ではここまで頑張ってきたなと思いますし、チームメイトに「横江のおかげで良い思い出ができた。続けてきてよかった。ありがとう」と言ってもらえたことは凄く嬉しかったです。そして、これまでに自分を支えてくれた部員や友人に「感謝」とするとともに、これからの人生も「感謝」の念や、人との出会いを大切に頑張ろうと思います。

私の音楽のルーツ

212 松永 悠里 (名古屋市立有松中学校出身)

私は、民謡家系に生まれ、2歳から民謡という伝統音楽を習っています。母のお腹の中にいる時から、音楽に触れ、生まれてからも周りには音楽しかなく、自然に音楽をするようになっていきました。

母は、民謡の先生とボーカルトレーナーを掛け持ちしていて、音楽のルーツはクラシックやジャズ。父も昔はギター少年で、ロックバンドで活動したりする大の音楽好きでした。その影響もあるのか、私は民謡という音楽をしている傍、J-popや洋楽などのポップミュージックを歌うことの方が好きで、どちらかというと民謡よりポップミュージックの方が好きと言えるほど、毎日歌っていました。

民謡を続けていく過程で、幼い頃から大会にも出場し、全国大会での優勝、内閣総理大臣杯最年少出場など数々の賞を受賞させていただくようになりました。このような賞を獲得できるようになったのは、私の生活には常に、音楽が

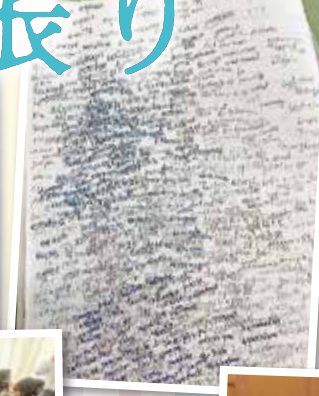
あったからだと思います。また、その環境を作ってくれた両親のおかげだと心から感謝しています。

物心ついて、将来のことを考えるようになると、民謡は私のやりたい音楽とは違うという感覚が強くなりました。ですが今は、自分の好きな音楽で、大好きな仲間に出会い、音楽活動ができていて嬉しく思っています。それと同時に、ジャンルは違えど、今の私の音楽のルーツは民謡になっていると思います。

現在はTikTokというアプリで「ホットガイズ」という音楽グループで活動しています。フォロワーも40万人ほどに増え、今を全力で駆け抜けることに一生懸命です。現在、同朋高等学校で音楽を学ばさせていただき、今までよりもっと音楽の幅が広がり、日々、音楽の良さを再認識しています。

私の夢に向かい一歩一歩進んで成長していけるよう精一杯努力して駆け抜けたと思います。

いろな頑張り



頑張ったこと

202 梶野 桐 (名古屋市立有松中学校出身)

どんなに努力しても、私より輝く人がいる。努力の結果なのに才能があるからと言われる。努力が伝わらない時、全てを投げ出したくなる。でもそこで耐えられるかどうか人が変わる。何度挫折しても、立ち上がった人には絶対に結果がついてくると私は思う。

私は中3になってからやっと勉強を始めた。最初は1年生の内容すらわからないし、退屈で五分も集中できなかった。でもだんだんわかるようになり、楽しくなってきた。そのおかげか、高校に入ってから連続でクラス1位を獲得するまで

になった。しかしそれも長くは続かなかった。どんどん他の人に追い越されていく。腹が立った。部活があるから、時間がないからと言い訳を考えてしまう自分自身に。悔しい! そう思い必死勉強した。そして、気付けば学年1位を獲得ようになっていた。

今までいろいろなことに何度も挫折しかけたが、その度に諦めなかった私が、今の私を作ってくれた。努力をし続けること、それが私の頑張ってきたことだ。

成長する機会

101 向井 志友里 (名古屋市立黄金中学校出身)

私たちクラ連では、「毎学期クオリティを上げよう」「自身も成長しよう」と、先生方の協力をほとんどなしに、当日までの約二ヵ月、準備を進めてきました。どんな企画にしたら楽しめるか意見を出し合う場でのすれ違い、当日の進め方が思い通りにいかず困難な場面もありましたが、1年全員でま

とまって最後まで楽しく終えることができました。学年行事は、普段関わりを持つことができない子同士つながり、団結力が生まれます。私は、友達と一緒に出し物で歌を歌いました。緊張しましたが、みんなが応援してくれたおかげで楽しく歌えました。次回の自主活動日が楽しみです。

きずな

106 工藤 唯佳 (名古屋市立はとり中学校出身)

今回2回目の自主活動日に初めてクラ連のメンバーとして関わりました。クラス対抗バスケットとサッカー、有志で個性や特技を披露できるラップバトルやカラオケバトル、腕相撲バトルを企画しました。私は、司会進行を務めましたが、みんなが楽しめるように、また企画の魅力を引き出す工夫を意識しながら進めました。クラ連のメンバーが朝早くからの

準備があり、行事が成功したと思います。一人ひとりの頑張りや仲間からの応援や歓声が体育館や人工芝に溢れていました。年に数回しかない学年行事を全力で楽しんでくれて私はとても嬉しく、やりがいを感じました。これからも学年やクラスをより良くしていきたいと思っています。